登録簿（鳥獣保護管理捕獲コーディネーター）

登録番号		C12001
（ふりがな） 氏　名		ありいずみ　おおい 有泉　大
連絡先	名　称	JPN野生鳥獣研究所
	役　職	代表
専門分野		鳥獣保護管理捕獲コーディネーター
専門とする鳥獣		☑イノシシ　☑ニホンジカ　☑ツキノワグマ　☐ヒグマ ☑サル　☐カモシカ　☑カワウ ☐外来種（　　） ☐その他（　　）
主な活動地域		☐北海道　☐東北　☑関東　☑北陸　☑中部 ☑近畿　☐中国　☐四国　☐九州　☐沖縄
鳥獣保護管理活動の経歴		H24.4　環境省鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　現在に至る H27.7　山梨県狩猟免許試験員　現在に至る H28.4　山梨県鳥獣被害対策専門員　現在に至る H28.4　農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー　現在に至る H28.4　「すぐ捕れるコツ猟歴40年の技」発刊 H29.4　獣の足を二重に結束可能とした罠の特許取得 R5.4　農林水産省ジビエ利活用コーディネーター　現在に至る 農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録

〇登録者の住所、電話番号、FAX番号、E-mailに関わる情報については、利用者が利用申請書を運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に限り情報の提供をします。

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

有泉　大

JPN野生鳥獣研究所

対象鳥獣
ニホンジカ
イノシシ

活動地域
山梨県

活動の背景

鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして活動を始めた平成24年頃は、鳥獣被害対といえば捕獲が主力であった。鳥獣被害を減らすためには、個体を捕獲する事が肝要であると考えている。長年の経験から学んだ安全かつ効率的な捕獲手法や、捕獲個体の利活用についての考え方を伝えていくことが重要である。

依頼を受けて実施した内容

狩猟40年の経験と学んだ手法、つまり安全で効率的な捕獲を山梨県内外の狩猟者を対象に座学と実演を行っている。更に、単に捕獲する事だけでは無く、動物の命の大切さと動物のすべてを頂く感謝の心を強く教えている。個体のすべてを利活用する方法の一つとして、山梨県特産の大長人参（長さが一メートルを超える人参）と鹿肉や猪肉をブレンドした商品を開発し、その製造方法の特許を取得した。

写真１：くくりわなの技術指導を実施

写真2：狩猟免許更新者対象の講習会で講師を担当

近年ではわな猟人口が増えているが、個体が暴れた場合に止めさし等の捕獲時に負傷する事故が多くなっている。効率的に安全に捕獲する手法として「獣の足を瞬時に二重結束する罠」を考察し、特許を取得した。「有泉式二重結束罠」を自作製造し販売している。また、自宅内に自作野生鳥獣処理加工所を作り、解体技術を教えている。